

### 道路標示を改善せよ

遠藤町長／県・公安委員会と協議し取り組む

**遠藤** 震災以降、町内の国道・県道は、大渋滞となつています。

そのため駅前の町道は、渋滞を回避してくる車両が往来し、制限速度以上に加速して走行する横を町民や高校生らが歩行、横断している大変、危険な状態です。

**町長** 平成26年度からの継続事業により速度抑制効果のある道路路肩部のカラー舗装を実施しました。

駅周辺の通勤・通学・通院による歩行者の安全対策は、横断歩道などの道路路面標示も速度抑制効果があるため、県及び公安委員会の協議を踏まえて取り組みます。

歩行者の安全を守るため、特に通学路や横断歩道などの危険個所に、ドライバーの視覚に訴える道路標示(道路のカラー化)の改善を早急に実施すべきと考えますが、町長の考えを伺います。



遠藤 浩 議員



制限速度を守るようさらなる改善を

### 障がい者に対する自立支援策を展開せよ

遠藤町長／就労機会の創出に努める

**遠藤** 「障がい者の雇用の促進等に関する法律」が、平成28年4月1日から改正され事業主に対し、雇用の分野で障がい者に対する差別が禁止され合理的配慮の提供が義務付けられました。

国が示す合理的配慮を地元企業に対し積極的に働きかけ障害を持つ方、弱者とされる方々が、労働者として町内で生活できるように自立支援策を展開すべきと考えますが、町長の考えを伺います。

**町長** 福祉的就労の支援のほか、公共職業安定所など関係機関との連携により、一般就労に向けた就労機会の提供など、障害を持たれる方々の能力や適性に応じた支援に努めていきます。

公共職業安定所と共に、町内の事業主に対し改正事項の周知を図り、就労機会の創出に努めていきます。

### 賠償の格差解消に向けた町の政策は

遠藤町長／町としての施策を検討していく

**門馬** 多くの町民は未だに賠償に格差があることに不満を抱いています。

加えて町長が選挙で話したことに、多くの町民が期待したことも事実です。

町単独の政策を講じる考えはないのか伺います。

**町長** 自治体間の格差を是正し、コミュニティの再生支援を求めため、多くの町民が厳しい避難生活之余儀なくされている実情を繰り返し要望・要請し、訴え、国及び東京電力の責任のもとに、賠償の格差是正はもとより、本町の新たな復興・再生並びに避難生活からの帰町に向け、生活再建の支援をすることを強く求め、国・県と協議を重ね、町としての施策について検討していきます。

### 環境大臣の発言に対する考えは

遠藤町長／慎重なる対応を求めている

**門馬** 丸川環境大臣が、去る2月7日長野県の講演での発言で、波紋を広げたことは周知の通りです。

その内容を要約すると、何の科学的根拠もなく年間1ミリシーベルトと時の環境大臣が決めたと発言し、物議をかもしましたが、この発言について当該地域の首長としてどう受け止め感じていますか。

**町長** 報道直後、環境省に対し発言の真意を確認し、慎重なる対応を厳に求めており、環境省からは謝罪を受けています。

国が策定した福島県復興再生特別措置法は、空間線量から推定した被ばく線量が年間20ミリシーベルト以下であることを避難区域解除の条件とし、除染による追加被ばく線量を年間1ミリシーベルト以下まで減少させることを長期目標として、この基準に基づき広野町除染実施計画を策定し除染事業を実施しています。

科学的根拠を踏まえ当該基準が定められたものと受け止めており、本町は、国・県と連携を図り、目標の実現に向け生活環境の改善に取り組んでいきます。



門馬 巧 議員



避難生活が続いている仮設住宅